

令和2年度

経営発達支援事業報告書

景気動向調査

第4四半期 [1月～3月]

業種別DIによる景気判断

<長野県内>

	製造業		建設業		卸小売業		サービス業	
北 信	↓	悪化	↓	悪化	↓	悪化	↓	悪化

全体的に前期よりは全産業で悪化している。

建設業関連は増加している分野もあるが、全体としては減少している。

GoToトラベルの停止等もあり元の状態に悪化している。

<全国>

	製造業		建設業		卸小売業		サービス業	
全 国	↓	悪化	↗	改善	↗	改善	↓	悪化

産業全体： 緊急事態宣言を受け、外出自粛要請などの影響、原材料の価格高騰などを受けたが巣ごもり需要、新しい生活様式に対応し改善。

製造業： 内食向けの産業等一部好調な分野もあるが、国内外の需要停滞や生産調整等により厳しい状況が続いている。

建設業： 災害工事の需要及び修繕やリフォーム工事が好調で改善してきている。

小売業： 食料品などは巣ごもり需要などで内食向けやネット販売は好調で業況も改善している。

サービス業： 緊急事態宣言の発出やGoToキャンペーンなどの停止などにより予約キャンセルが相次ぎ悪化の状態が続いている。

<参考資料>

・全国商工会連合会「小規模企業景気動向調査」・関東財務局「最近の県内経済情勢」・長野県産業労働部「景気動向調査」・長野経済研究所「最近の長野県経済の動向」・日本政策金融公庫「景気動向調査」・長野信用金庫「景気調査レポート」